

## 第 108 回技術倫理協議会 議事録

1. 日 時：2022 年 9 月 28 日（水） 13：30～15：00

2. 場 所：オンライン会議（Zoom）

3. 出席者（役職順／所属順、敬称略）

議長：草柳 俊二

副議長：吉開 範章

幹事：伊藤 和也、木下 宏揚

委員：皆川 勝、大澤 和敏、貴志 公博、中野 智仁、石川 孝重、鎌田 潤一、  
夏目 賢一

事業担当理事：蘆立 修一

アドバイザー：三木 哲也、札野 順

オブザーバー：吉沢 清晴、岩西 伸介、松沼 岳

事務局：木暮 賢司

4. 議題

① 前回議事録(案)について（審議）（技倫資料108-3-1, 108-3-2）

② 第18回公開シンポジウム（日程、会場、テーマについて）（審議）（技倫資料108-4）

・日時 2022年12月8日(木) 午後～

・会場 土木学会 2階 講堂

・テーマ （審議）

③ 会員学協会活動報告について（報告）（技倫資料108-5）

④ 次回第109回以降協議会日程について（審議）（資料なし）

・第109回：2022年 月 日（ ）

\*時間： ： ～ ：

\*場所：Zoom（予定）

⑤ その他

5. 議事

① 前回議事録(案)について、議事内容の確認、審議を行い、原案を承認した。

② 第 18 回公開シンポジウムについて、資料『第 18 回公開シンポジウムのテーマについての諸検討』を基に議論を行った。

③ 会員活動報告について学協会から報告があった。

④ 次回第 109 回協議会は、2022 年 10 月 24 日（月）10 時 00 分から 12 時 00 分まで、オンラインで開催する

⑤ その他

第 108 回技術倫理協議会（2022 年 9 月 28 日）会員学協会活動報告

	学協会名	報告概要
1	公正研究推進協会	<p>2022 年 9 月 7 日（水）に理工学分科会を開催し、以下の内容を検討した。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 単元「理工学分野における共同研究」の執筆状況の確認</li> <li>2. 新規単元「人工知能に関する倫理」、「企業の技術開発に関する倫理」および「機微技術関連の倫理」の WG 活動状況報告の内容、執筆者等に関する審議。「農学系分野の倫理」に関しても今後検討を進めること。</li> <li>3. APRIN が主催する APRI2023（第 5 回アジア太平洋研究公正ネットワークミーティング、2023 年 3 月 20 日から 22 日に早稲田大学でハイブリッド開催、21 日及び 22 日の参加には要登録料）のなかで、3 月 20 日 16 時から 18 時に開催される全国公正研究推進会議・理工学分科会（参加費無料）の開催方法について、「データ不正」に関する話題提供と教材づくりのための情報収集の場とすること。</li> </ol>
2	電気学会	・9/28 に第 66 回倫理委員会を開催
3	電子情報通信学会	9 月 22 日に倫理委員会の倫理綱領検討小委員会が開催された。事例集に関する動画作成の予算の規模および今後のスケジュールを確認した。また加える事例に関して、前回の事例集をもとに各個人を意見を出し合った。
4	土木学会	<p>・継続的契約管理セミナー（8 回シリーズ） 第 2 回：9 月 27 日（火）開催</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 「公共工事標準請負契約約款の条項分析 第 1 条～第 6 条」草柳俊二（高知工科大学名誉教授）</li> <li>2) 「公共調達と契約変更の実際（1）」木下誠也（日本大学教授）</li> <li>3) ディスカッション</li> </ol> <p><a href="https://committees.jsce.or.jp/rinri/node/29">https://committees.jsce.or.jp/rinri/node/29</a></p>
5	日本化学会	
6	日本機械学会	<p>9 月 11 日（日）に第 2 回技術倫理委員会を年次大会会場の富山大学五福キャンパスにて開催し、規定見直し WG の報告を行った。</p> <p>また、同日 14 時～から同会場にて『「技術の進歩は SDGs を実現するか」～技術の役割・企業の取り組み・消費者の評価から考える～』を開催し、35 名の出席者があった。</p>
7	日本技術士会	<p><b>1. 倫理委員会</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 今月は開催なし</li> <li>② 技術士倫理綱領の改定案に関する意見募集 <ul style="list-style-type: none"> <li>・改定案に対する会員意見を精査し、修正版への反映について検討中。9 月中に取りまとめ、次回倫理委員会にて協議する予定。</li> <li>・また、技術士全国大会技術者情報連絡会@10/28（金）において、全国の地域本部倫理委員会や会員に向けて改定案修正版の検討状況を報告し、意見交換を行う予定。</li> </ul> </li> <li>③ 技術者倫理シンポジウム開催報告(5/18 実施)</li> </ol>

	学協会名	報告概要
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・月刊技術士 10月号に掲載する原稿を作成済み。</li> <li>・講演2題の内容を、日本技術士会に Pe-CPD に掲載して公開した。</li> </ul> <b>2.. 今後の予定</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第8回倫理委員会 2022年10月5日(水) 15:00~17:00</li> </ul>
8	日本原子力学会	<p>前回 8/26 以降委員会の開催なし(次回 9/29 開催予定)</p> <p>2022/9/8 に原子力学会秋の大会で企画セッションを開催。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2022 春の大会(茨城大学)における企画セッションと「原子力への信頼を、倫理的な行動から考える」と題して、日本原子力学会倫理規程における社会との関係性や信頼に関連する憲章や行動の手引を確認しつつ、科学社会学や立地地域からの視点も交えて、信頼を得るための行動について考察した。</li> </ul> <p>2022/9/10 に倫理規定制定 20 周年シンポジウムを開催。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・委員会設立 20 年となるため、20 周年行事の催しとして、「倫理は原子力の安全に寄与できるか」と題して、安全に寄与する倫理とはどのようなものか、また、今後、倫理委員会としてどのような活動をしていくべきかを議論した。</li> </ul>
9	日本建築学会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・9月15日に倫理実践検討小委員会が開催され、「倫理綱領・行動規範」のガイドライン(手引書)の全体構成について検討を行った。</li> <li>・9月27日に倫理委員会が開催され、「建築倫理セミナー開催結果報告」ならびに「倫理綱領・行動規範パンフレット(ガイドライン)の検討」を行った。</li> </ul>
10	日本工学教育協会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年次大会・講演会では、9/9 オンラインで OS「Positive Engineering Education の可能性」4 講演と WS 実施、参加 22 名。</li> <li>・協会発行物の撤回、取り下げの規程類継続検討。</li> <li>・教育倫理規範の前文改訂 9/6 理事会報告完了</li> <li>・ワークショップ開催(11/5 オンライン)</li> <li>・研究倫理啓発教材開発検討</li> <li>・今後の活動計画、助成金申請等</li> </ul>
11	日本非破壊検査協会	
12	日本マリンエンジニアリング学会	

(以上)